

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	災害対策 前回の評価で課題となっていた地域との協力体制の構築及び地震・水害への対応の検討を早期に行うこと。	年2回実施のうち1回は地域の方を交えた災害想定での避難訓練を実施する。	災害に応じた避難ルート・避難場所を把握 地域の方より防災についての情報収集活動 災害や天候別に避難手段を具体的にマニュアル化して地域に公開(回覧等)、協力体制に繋げる	10ヶ月
2	23 (9)	思いや意向の把握 前回の評価で課題となった支援経過とアセスメントの連動において、理解と活用に職員間で差が生じているため、スキル差の解消に取り組み中であり、現在も継続している。	支援の経過記録から課題抽出ができ、また分析して実現可能な目標を設定する技能を身につける。	理解度を図りながら職員の個別指導を継続	12ヶ月
2	24(9 -2)	これまでの暮らしの把握 上記項目と同様	上記同様	上記同様	12ヶ月
2	26(1 0)	チームでつくる介護計画とモニタリング 前回の評価で課題となった日常業務と介護計画作成の連動に対し、介護計画が作成されるまでの一連の作業を、上記項目の取り組みと並行して改善に向け取り組みを継続している。	日常業務の中に、個別計画として利用者の自立支援を組み立てたうえ実践して、評価・課題・分析の一連を理解し、利用者本位のサービス提供ができる。	上記同様	12ヶ月
3	2 (2)	事業所と地域とのつきあい 現在一世帯として自治会に関わるほか、市内中学生の体験学習やボランティアの受け入れ等にとどまっているが、高齢者と園児の交流も図り地域活動に展開させたい。	最低年1回は、高齢者と園児が触れ合う交流を企画して実現する。	保育機関等とその家庭への意義の理解を求め、協力体制に繋がる活動 園児が習得した演芸などを観覧できるような交流から始める	12ヶ月